

	令和 7 年第 2 回奥出雲町総合教育会議 会議録 日 時 令和 7 年 2 月 1 7 日 (月) 開 会 午後 3 時 0 0 分 閉 会 午後 3 時 2 0 分 場 所 奥出雲町役場仁多庁舎 4 階 大会議室 出 席 者 糸原保町長 川本健二教育長 福田充雄教育長職務代理 谷尻圭子教育委員、松崎百合子教育委員、小林勝吾教育委員 事 務 局 江角啓総務課長 高尾昭浩教育魅力課長 江角浩司教育魅力課長代理、青木秀樹教育魅力課長補佐、石原啓子企画員、廣田駿二主任主事、末森万莉子主事
江角総務課長	※開会宣言
糸原町長	(挨拶)
高尾課長	<協議・調整事項> (1)仁多地域統合小学校の校章デザインについて ※前回 1 月 2 3 日の会議経過説明（事務局から資料により説明） <u>資料 1：仁多地域学校再編統合推進委員会総務部会で先行されたデザイン一覧</u> <u>資料 2：校章デザイン案について</u> 1、資料 1 の校章デザイン 1 0 候補を参考に意見聴取。いただいた意見を参考に島根デザイン専門学校に校正を依頼。校正後のデザイン案は資料 2 のとおり。 2、資料 2 の 1 ページ目には、デザイン No. 1 をベースに校正したもの (①～④)、デザイン No. 2 をベースに校正したもの (⑤～⑥)、デザイン No. 6 をベースに校正したもの (⑦) を掲載。 2 ページ目には、デザイン No. 1 0 をベースに校正したもの (⑧～⑨)、デザイン No. 2 と No. 1 0 を組み合わせて校正したもの (⑩～⑬) を掲載。 本日の会議では、これらを参考にして、皆様からの意見をいただき、校章デザインを決定していただきたいと考えている。 経過の説明は以上。
糸原町長	教育委員の皆様よりご忌憚のないご意見、お考えをお聞かせいただければと思います。

川本教育長	横田小学校の校章は、四葉のクローバーの中に横田と、非常にシンプルな校章だと思っています。仁多地域においても、なるべくシンプルな校章でと思いました。統合小は、6つの小学校から集まった児童の心を表すハートで、そのハートは花卉にあたりますが、そこへ小を入れたデザインがシンプルでいいということで、私は、No.2とNo.10をベースにした、10番を選びたいと思いました。
谷尻委員	川本教育長さんが言われますように、6つの花びらというのは6つの学校から集まったハート、心を表すものだと思っています。その子ども達と一緒に育つより大きな花に育とうとする前向きな力を表しているということで、No.2の形を基本にした5番か6番と考えておりました。仁多小の文字を、横向きか縦向きにするのかを考えてみたときに、縦長の5番はすっきり感がありいいということでハートを基準にした5番がいいと思いました。 しかし、仁多の子ども達の緑豊かな自然環境や自然を生かした教育など、地域を大切にすることということで、それもどこかに表したいと思ったときには12番です。12番は、仁多が縦文字で入っていて、その下の青い葉っぱに春夏秋冬の豊かな自然が垣間見え、そこに、子ども達の教育を支えている自然であったり、周りの人の力であったりということも加われば、なおいいと思います。それは、もとは小さな若葉とか新芽とかを表していて、小をその下に入れたらと思います。実は、5番か、12番か迷いました。5番がすっきりしていいのですが、どんな花にもこれからなりえる子ども達の若葉を少し強調したいという思いがあり、横文字の仁多ではなく、縦のすっきり感がある12番がいいと私は考えました。
小林委員	元の図案のシャクナゲや6つの小学校、仁多米と、考えられた皆さんのいろんな思いが込められていてすごく大事だと思いましたが、ごちゃごちゃしていたので、デザイン学校で手を入れてもらい、結構すっきりした感じがします。 校章として形がいいと思ったのは9番です。ただし、9番には、シャクナゲだ、仁多米だ、6つの小学校だというのが入っていないですけれども。ほかの例えば、10番、11番を見ても、花びらがハートだったり、花びらだっりの表現だと思いますが、もう少しシンプルがいい気がしています。9番については考え方として、5つの地域の子子ども達が集まるという意味合いから、後付けになってしまいますけれども、たぶん桜の花びらと思われるのですが、花びらが5枚という意味合いからそれもありえるかなと思い、9番がいいと思いました。
松崎委員	私は、3番のNo.1をベースにして、シャクナゲを取ったものを選んでいきます。理由としては、仁多小という校名から考えたときに、仁多地域の小学校だから仁多小というのもあったのですけれども、やはり出雲の國風土記で、爾多しき地、小学校の校名も。豊かな自然の中で、人々の恵みの中で、健やかに育ってほしいという願いも込められていたと思います。そういう意味で、この校章の稲穂というのは、豊かなこの仁多の地で、実り多き人として成長した子どものシンボルと

	して、校名のつけられた思いとマッチしますし、また、モチーフが1つになってシンプルになっていいのではないかと思います、3番を選びました。
福田職務代理	実は、非常に難しくなったなという思いがあります。というのは、No.1をベースにしたと考えたときに、どういう意味付けができるのかと思ったのです。ここに並べてみたときに、4番ならシャクナゲの花は7つに裂けるのでその意味もあるし、以前亀嵩に統合した高田をとらえると7つになると考えると、この花びらというか、杵の形状の7つが生きてくるというふうに思います。やはり、文字は縦がいいと思っています。No.1をベースにするなら4番だと思います。 次に、この前言ったのは5番でしたね。最終的に、あまりにもシンプルすぎる感じがして、5番を選ぶなら何かをつけないといけないという思いがしました。 No.10をベースにしたときに、9番もいいなと思ったけれども、ひと昔前かなという感じがしました。 次、No.2とNo.10をベースにしたのを考えたときに、花びらとおっしゃったけど、最初ぱっと見たときに、小学校の小の字が抜けてそれぞれのところに小の字が入っていると思い、花びらとは取らなかったです。だから、これは6つの小学校から寄ってきて、仁多という形で表現したとも考えられると思いました。文字は縦がいいので、ここなら10番かな。もう1つ、12番、13番を考えたときに、下から支えるものがあってもいいかなという思いがして。小の字がここにあるのはどうかという感じがしました。12番はいいけれど、若干、小の字が引っ掛かったという思いがあります。結論として、10番かなと思いました。少し議論する必要があると思います。
糸原町長	1番、2番は、これは何かよくわからない。でも、校名を書くのは、縦書きでいいような感じはします。
福田職務代理	縦がいいと思います。
川本教育長	縦がいいと思います。
糸原町長	12番は、小の字が違和感がある。
福田職務代理	小の字を上に入れてしまって、下を考える。
川本教育長	小を上に入れておく。
福田職務代理	鉢の受け皿じゃないけれど、自然で、こう、囲むみたいな形も悪いことはない。
糸原町長	仁多小として、上に上げてしまうのもいいかもしれない。

小林委員	下の葉は、もとは稲穂ですね。
糸原町長	もともと稲穂だったと思います。
谷尻委員	稲穂ではなくて、いろんな自然を感じるものがよい。
糸原町長	稲穂を入れると、また、ごちゃごちゃとします。
松崎委員	稲穂は入れない方がいいと思います。
谷尻委員	この5番の仁多小とか、4番の仁多小を入れればどうですか。
糸原町長	小を上に入れて、下はもうつなげてしまう。
小林委員	10番に今の植物を入れるということはできますか。それと、小は、花びらに全部入れる。下から支えるものがあつた方がよければ植物を。
川本教育長	花びらのそれも小ですね。あえて小を上にはげずに。
糸原町長	上げずに仁多とする。それもいいですね。小がいっぱいある。
糸原町長	どうですか、例えば、9番、3番というご意見もいただきましたが、そういうご意見もいただきながら、10番、12番の点が高いので、収まりがいいようであれば、収まりのいいほうで決めさせてもらってよろしいでしょうか。少し変わった校章でいいかもしれません。
川本教育長	9番とかが、安定感があります。
福田職務代理	9番は安定している。
糸原町長	確かに、10番だと安定感はどうでしょうか。収まりがよくないようでしたらまた相談します。
福田職務代理	相談というよりも、町長さんと事務局にお任せしてもいいかなと思いますが、いかがですか。
糸原町長	それでは本日のご意見を参考にして、10番と12番を再度校正していただき、それでよければ、その方向で決めさせていただきます。

糸原町長 糸原町長 川本教育長	(全員から同意あり) これを持ちまして、総合教育会議を終わります。本日は、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。 ※閉会宣言 会 議 録 署 名 糸 原 保 川 本 健 二
--------------------------------------	--